



熱

痛

痛

# 発熱・のどの痛み 溶連菌感染症 にご注意を

令和5年12月13日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和5年第49週分・12月4日～12月10日)

### 《インフォメーション》

#### ●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌による上気道感染症であり、小児科定点把握疾患となっています。今週、富山県ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が定点医療機関あたり7.59人となり、先週(7.79人/定点)より減少したものの警報レベルの基準となる8人/定点に迫っており、引き続き注意が必要です(右上図)。一方、全国では第48週に定点医療機関あたり4.17人となり、過去10年間で最も多くなっています。

本感染症の潜伏期間は2～5日であり、突然の発熱(38～39℃)やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、体や手足に小さく赤い発疹が出たり、舌に赤いブツブツがでたりすることもあります(莓舌)。

ペニシリン系抗菌薬等の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好です。しかし、症状が消失しても医師が処方した期間まではしっかりと薬を飲み続けることが大切です。途中で飲むのを止めた場合には、菌を完全に排除することができず、再発する事があります。また、肺炎や急性糸球体腎炎等の合併症を起こすことがあります。

患者の年齢分布は5歳をピークとして幅広い年齢の小児で認められ(右下図)、家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児集団生活施設内による感染が多くなっています。

本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。**感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。**

### 《全数報告の感染症》

四類感染症 レジオネラ症 1件(80歳代、女性、肺炎型)

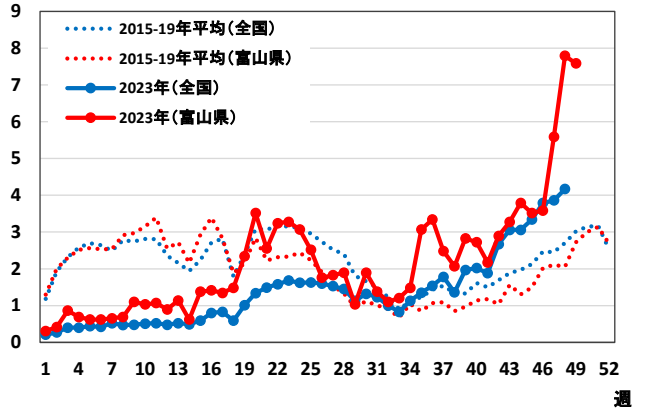
五類感染症 梅毒 2件(①第48週診断分:80歳代、男性、無症候  
②40歳代、男性、早期頭症梅毒I期)

### 《定点報告の感染症》

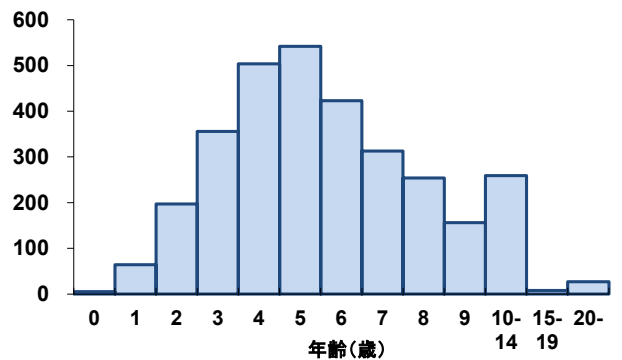
今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	29.77(↑)	21.96
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.59(↓)	7.79
3位	咽頭結膜熱	6.59(↑)	5.69
4位	感染性胃腸炎	6.48(↑)	5.07
5位	COVID-19	3.92(↑)	2.98
6位	手足口病	0.76(↑)	0.62

人/定点 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢別患者報告数 (富山県: 令和5年第1～49週)



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第49週 令和5年12月4日～令和5年12月10日）

分類	疾患	今週報告分（第49週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核						5	6	25	7	62	105		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症						1		4	3	18	26		
	四類感染症	オウム病								1			1		
		つつが虫病										2	2		
		日本紅斑熱										1	1		
		レジオネラ症			1			1	4	1	19	1	12	37	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									11	2	14	27	
		急性脳炎										1	2	3	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	6	13	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	8	12	
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	6	3	14	25	
		水痘（入院例）									1		1	4	6
		梅毒			1			1			5	3	15	23	
播種性クリプトコックス症								1					1		
破傷風										1			1		
百日咳											5	5			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	163	106	307	241	612	1,429	1,252	1,747	5,314	2,015	7,141	17,469	
		COVID-19（※1）	27	14	47	47	53	188	1,914	1,160	3,323	1,665	3,019	11,081	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	2		2			4	88	121	660	260	593	1,722	
		咽頭結膜熱	15	10	82	6	78	191	154	70	956	67	560	1,807	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	15	84	17	101	220	98	80	1,403	95	1,432	3,108	
		感染性胃腸炎	14	23	62	17	72	188	940	870	1,519	1,019	5,045	9,393	
		水痘					3	3	4	22	47	6	64	143	
		手足口病	2		10		10	22	66	122	541	208	380	1,317	
		伝染性紅斑							1		2		6	9	
		突発性発しん			2	1	6	9	15	34	129	32	98	308	
		ヘルパンギーナ	2		6		2	10	135	143	829	104	583	1,794	
		流行性耳下腺炎							1	2	12	7	16	38	
		眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			2			2	7	3	38	4	12	64
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										2	1	3	
		無菌性髄膜炎											2	2	
		マイコプラズマ肺炎		1		1		2		1	8	2		11	
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）		1.00		1.00		0.40				5		5	
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）		2	2	5	4	13	1	4	11	14	15	45	
		COVID-19による入院患者（※3）	1		5	3	7	16	17	42	17	36	103	215	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。  
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

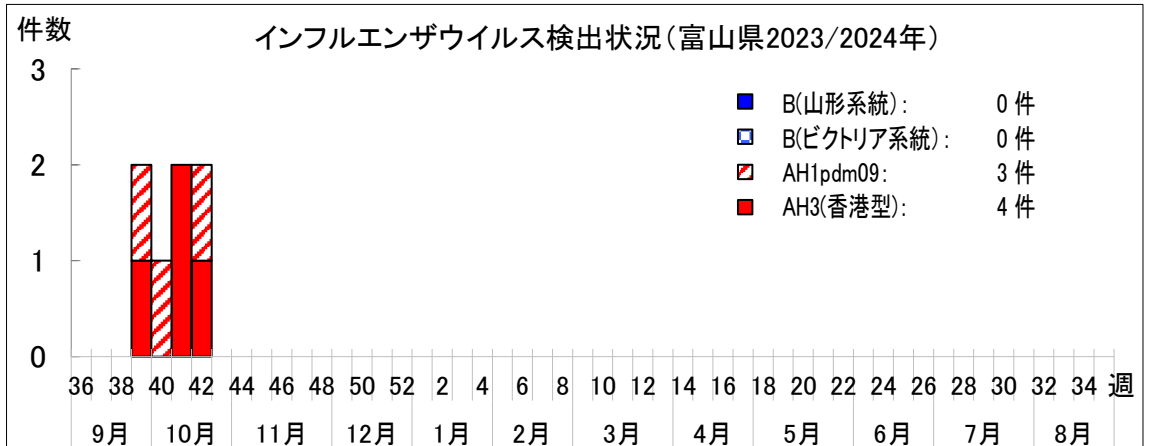
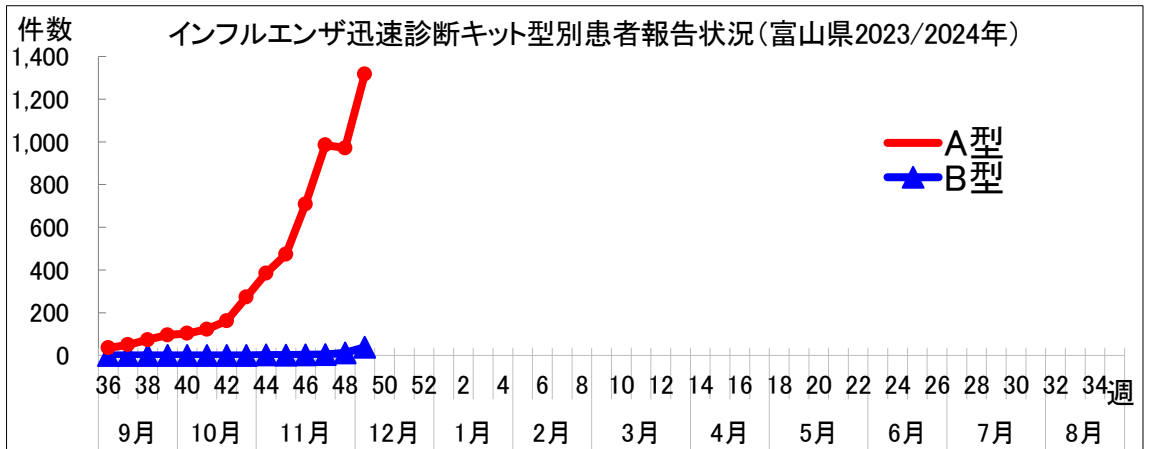
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が92.2%となっています。

### 第49週(12/4~12/10)：富山県 29.77人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	162	0	1	163
中部	5 / 5	93	1	12	106
高岡	13 / 13	282	0	25	307
砺波	7 / 7	224	1	16	241
富山市	16 / 16	556	36	20	612
富山県	47 / 48 <sup>※1</sup>	1,317	38	74	1,429
富山県累計(2023年36週~)		5,753	60	298	6,111

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





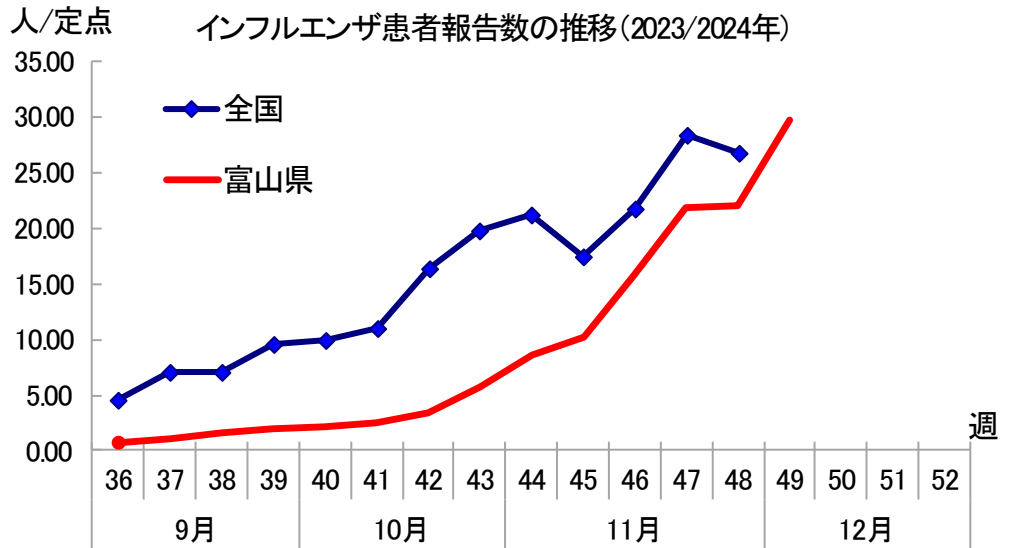
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 49 週 (12/4~12/10) : 富山県 29.77 人/定点

新川 HC (23.29)、中部 HC (21.20)、高岡 HC (23.62)、砺波 HC (34.43)、富山市 HC (38.25)

全国の患者報告数は、第 48 週に 26.72 人/定点でした。

県内の患者報告数は今週 29.77 人/定点となり、先週 (21.96) から大幅に増加しました。

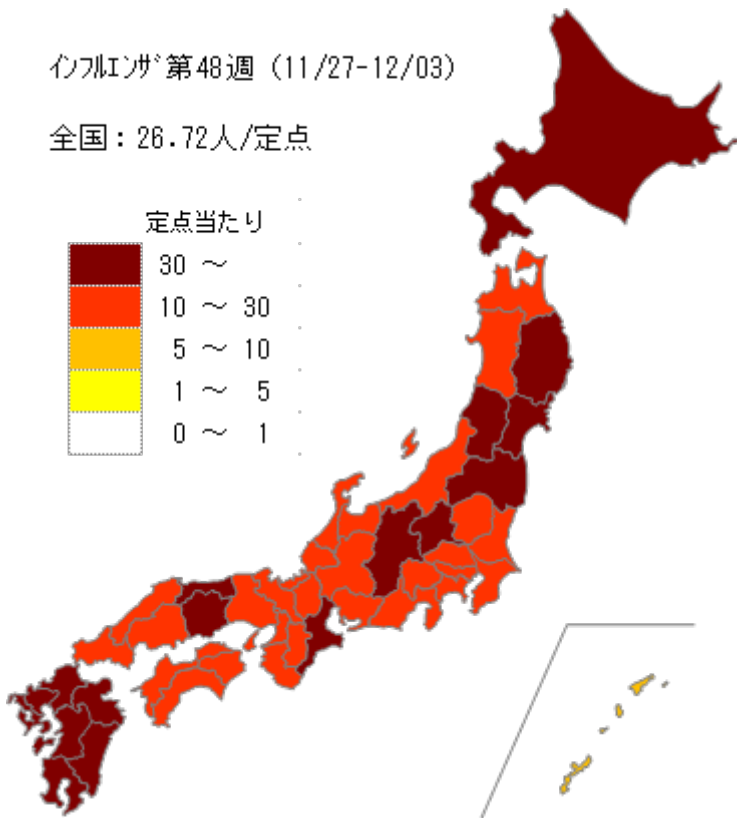
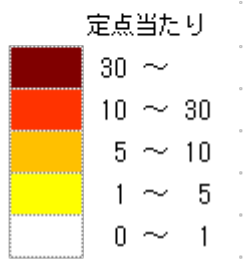


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 48 週 (11/27~12/3)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 26.72 人となり、前週の 28.32 人より減少しました。17 府県で前週より増加しています。30 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第48週 (11/27-12/03)

全国：26.72人/定点



都道府県	人/定点	変化	都道府県	人/定点	変化
北海道	50.49	↓	滋賀県	18.25	↑
青森県	23.37	↑	京都府	19.74	↑
岩手県	34.46	↑	大阪府	17.54	↓
宮城県	42.66	↓	兵庫県	22.41	↑
秋田県	13.79	↓	奈良県	27.69	↓
山形県	33.51	↓	和歌山県	25.37	↑
福島県	35.27	↓	鳥取県	32.79	↓
茨城県	21.88	↑	島根県	25.11	↑
栃木県	27.66	↓	岡山県	31.55	↑
群馬県	38.85	↑	広島県	29.41	↓
埼玉県	27.98	↑	山口県	24.88	↓
千葉県	23.70	↓	徳島県	24.70	↓
東京都	15.08	↓	香川県	23.60	↓
神奈川県	17.09	↓	愛媛県	16.79	↑
新潟県	29.38	↓	高知県	22.32	↓
富山県	21.96	↑	福岡県	40.13	↓
石川県	27.48	↓	佐賀県	38.56	↓
福井県	22.64	↑	長崎県	34.90	↓
山梨県	21.71	↓	熊本県	38.13	↓
長野県	40.09	↓	大分県	34.38	↓
岐阜県	22.87	↓	宮崎県	35.50	↑
静岡県	26.83	↓	鹿児島県	34.44	↑
愛知県	25.02	↓	沖縄県	8.17	↓
三重県	35.20	↑	全国	26.72	↓

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年11月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		11月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (9定点)	性器クラミジア感染症			4		18	22		5	28		100	133
				1.33		6.00	2.44						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1		1	8	10	1	9	2	5	55	72
			1.00		1.00	2.67	1.11						
	尖圭コンジローマ		1			2	3		1	4	9	9	23
			1.00			0.67	0.33						
	淋菌感染症					4	4	1	1	3		26	31
						1.33	0.44						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	2	2	1	7	15	27	13	18	8	125	191
		3.00	2.00	2.00	1.00	7.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			2		3	5			8		14	22
				2.00		3.00	1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。